

ブランディワイン・ グローバルバリュー 株式ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：BWバリュ株

2024年8月16日から2025年8月15日まで

第 4 期 決算日：2025年8月15日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	16,340円
純資産総額(期末)	18,049百万円
騰落率(当期)	+15.2%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について (2024年8月16日から2025年8月15日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	14,181円
期末	16,340円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+15.2% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2024年8月16日から2025年8月15日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、実質的に日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資しました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。

上昇要因

- 9月中旬から2025年1月上旬にかけて、F R B (米連邦準備制度理事会)の利下げ(金融緩和局面入り)、生成 A I 需要拡大による半導体株の上昇、米トランプ新政権の減税・財政政策への期待などから、グローバル株式市場が上昇したこと
- 4月下旬から期末にかけて、米国の関税政策の緩和や合意、中東リスクの後退、I T、A I 企業の好決算などを背景にグローバル株式市場が上昇したこと

下落要因

- 1月中旬から4月中旬にかけて、トランプ政権の関税政策に対する先行き懸念や中東情勢の悪化などからグローバル株式市場が下落したこと

1万口当たりの費用明細(2024年8月16日から2025年8月15日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	259円	1.727%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は14,999円です。
(投信会社)	(139)	(0.924)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(115)	(0.770)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.033)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.063	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(9)	(0.060)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.003)	
(c) 有価証券取引税	3	0.019	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(3)	(0.019)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	7	0.047	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.039)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.003)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	278	1.856	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

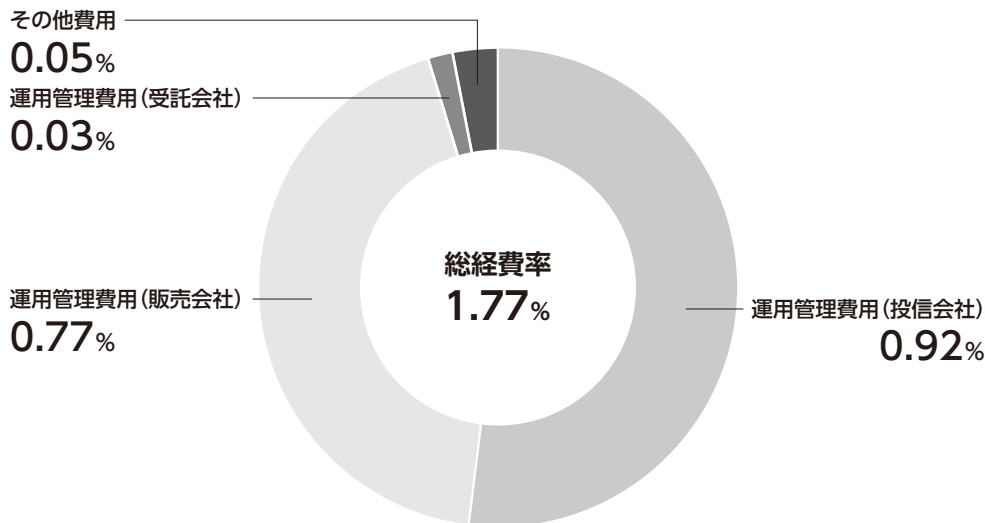
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

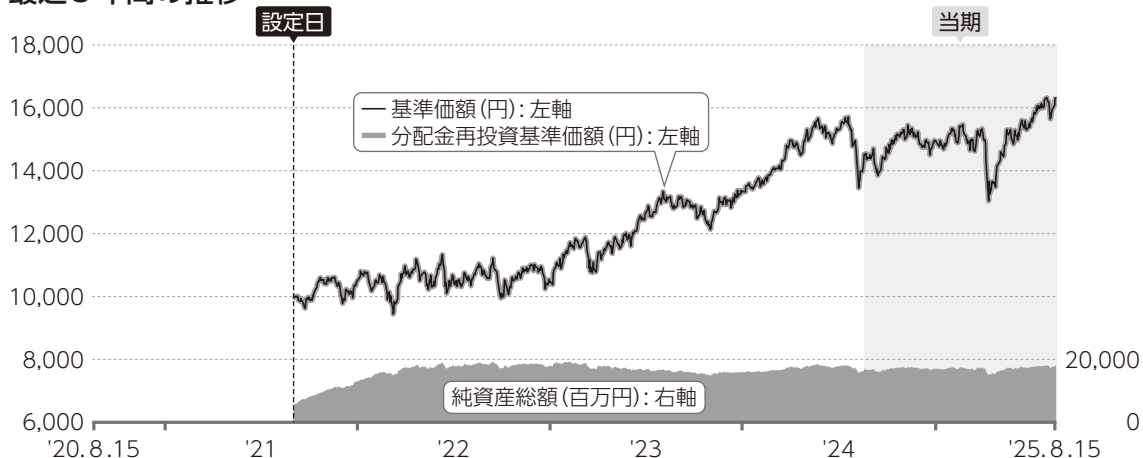
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.77%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年8月15日から2025年8月15日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年8月31日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2021.8.31 設定日	2022.8.15 決算日	2023.8.15 決算日	2024.8.15 決算日	2025.8.15 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,954	13,176	14,181	16,340
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	9.5	20.3	7.6	15.2
純資産総額	(百万円)	4,111	18,867	16,531	16,407	18,049

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2024年8月16日から2025年8月15日まで)

グローバル株式市場は上昇しました。為替市場では、期を通じて見ると米ドルは対円で概ね横ばいとなりました。

グローバル株式市場

期の前半は、米大統領選でトランプ氏が勝利したことを受け、市場で減税や規制緩和への期待が高まったことを背景に、世界の株式市場は上昇しました。期の半ばは、米国が発表した相互関税に対する中国による報復措置を受けて貿易戦争が激化すると懸念から、株式市場は下落に転じました。期の後半は、米中による相互関税の一時的な引き下げ合意や、米CPI(消費者物価指数)などのインフレ指標の伸びの鈍化を受け、FRBによる利下げ観測が強まったことなどを背景に、投資家のリスク選好の動きが広がるなか、株式市場は堅調に推移しました。

為替市場

期中の米ドル・円相場は、FRBの金融政策に対する思惑や長期金利の動向、さらに日銀の金融政策変更に大きく左右される展開となりました。

8月中旬から2025年1月上旬にかけては、FRBによる利下げ開始を受け米ドル安・円高となったものの、その後は米国経済の底堅さや大幅利下げ観測の後退から米ドル高・円安基調を取り戻しました。1月中旬から4月中旬にかけては、株式市場の調整局面や長期金利上昇を背景に米ドル安・円高が進行しました。その後、FRBのタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的な姿勢と米経済指標の堅調さが意識され、再び米ドル高・円安基調となりました。期を通じて見れば、米ドル・円相場は大きく振れる局面を経ながらも、概ね横ばいとなりました。

ポートフォリオについて (2024年8月16日から2025年8月15日まで)

当ファンド

主要投資対象である「ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド」を期を通じて高位に組み入れました。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド

期を通じて、株式組入比率は高位としま

した。

国別配分では、割高感のある米国の組入比率を相対的に低位に維持する一方、割安感の強い欧州などの組入比率を、相対的に高めとしました。また、中国やブラジルなどの新興国についても、相対的に高位な組み入れとしました。

業種配分では、バリュエーション(投資価値評価)が割安と判断している銀行株の高位組入れも維持しました。

ベンチマークとの差異について (2024年8月16日から2025年8月15日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について (2024年8月16日から2025年8月15日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第4期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,340

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド」への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド

運用チームでは、今後の運用見通しについて楽観的にみています。グローバル株式市場では約65%を割高な米国株が占めている一方、当ポートフォリオでは、幅広い業種・地域に投資機会を見出すことで銘柄の分散が効いており、バリュエーションも割安な水準に位置しています。半年前はバリュエーションの観点に基づいた投資が主な着眼点でしたが、足元では経済・政治イベントの変化により、米国外の株式市場での成長機会の拡大、米国株式市場での不確実性という新たなカタリスト(相場を動かすきっかけとなる材料)が見え始めていると考えます。

ポートフォリオでは、引き続き企業の本源的価値を見極めたバリュー投資を徹底します。

3 お知らせ

約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2025年4月1日)

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

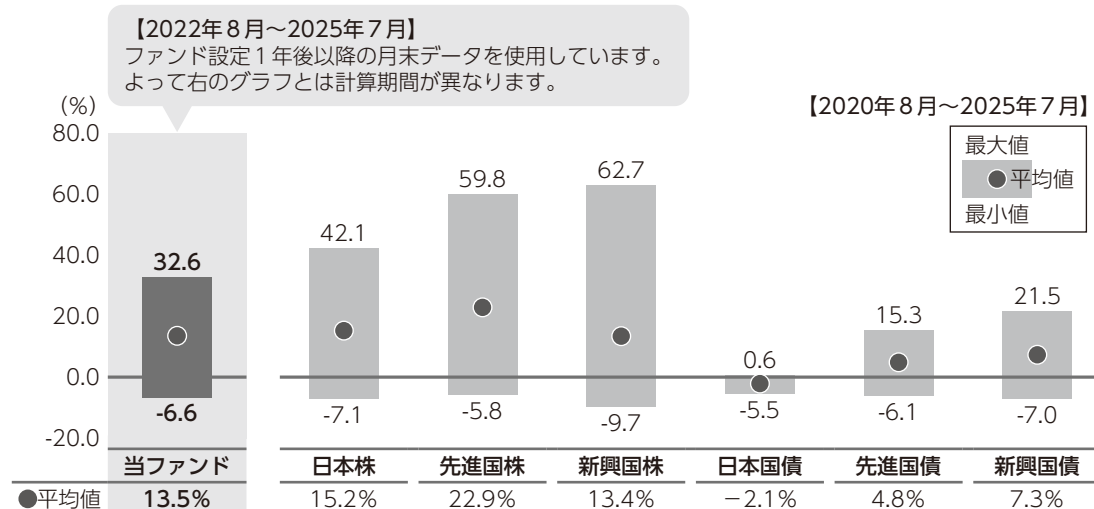
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限(設定日：2021年8月31日)
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド 世界の取引所に上場している株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■日本を含む世界の取引所に上場している株式に投資します。 ■マクロ分析に基づくトップダウンの国・通貨の投資判断とボトムアップの個別銘柄分析を組み合わせ、割安と判断した企業の株式に投資を行います。 ■実質的な運用は、ブランディワイン・グローバル・インベストメント・マネジメント・エルエルシーが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <p>ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年8月15日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

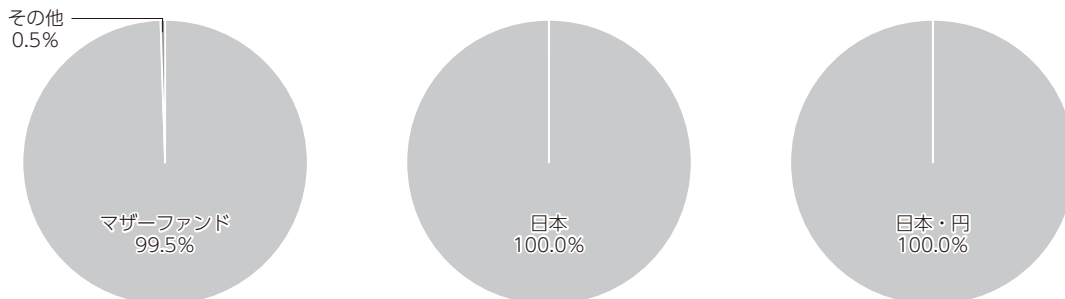
当ファンドの組入資産の内容(2025年8月15日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド	99.5%
コールローン等、その他	0.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

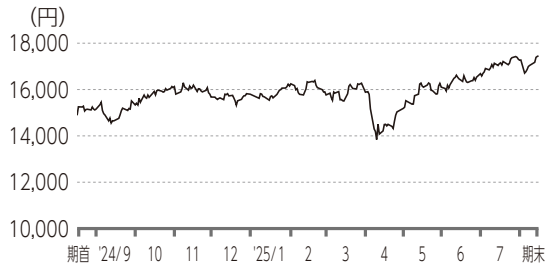
項目		第4期末 2025年8月15日
純資産総額	(円)	18,049,205,583
受益権総口数	(口)	11,045,700,801
1万口当たり基準価額	(円)	16,340

※当期における、追加設定元本額は1,570,603,923円、解約元本額は2,094,808,382円です。

組入上位ファンドの概要

ブランディワイン・グローバルバリュー株式マザーファンド(2024年8月16日から2025年8月15日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式) (投資信託証券)	10	(10) (0)
有価証券取引税	(株式)	3	(3)
その他費用	(保管費用) (その他)	7	(6) (0)
合計		20	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

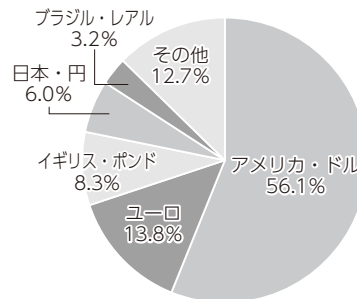
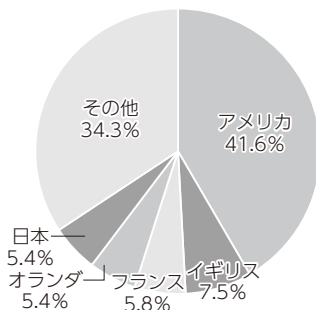
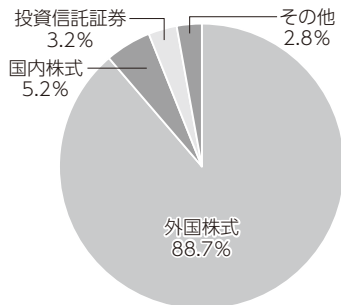
(基準日：2025年8月15日)

	銘柄名	業種	組入比率
1	BAIDU INC - SPON ADR	メディア・娯楽	3.3%
2	CITIGROUP INC	銀行	3.1%
3	DELTA AIR LINES INC	運輸	3.0%
4	DOLLAR GENERAL CORP	生活必需品流通・小売り	3.0%
5	AERCAP HOLDINGS NV	資本財	3.0%
6	BNP PARIBAS	銀行	2.9%
7	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	2.9%
8	BANCO SANTANDER SA	銀行	2.8%
9	CVS HEALTH CORP	ヘルスケア機器・サービス	2.4%
10	BP PLC	エネルギー	2.1%
	全銘柄数	68銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2025年8月15日現在です。